

東京 11 発走 15:45

第65回日交関係樹立60周年記念 府中牝馬ステークス(重)

Main race table with columns for race number, horse name, jockey, trainer, and performance data. Includes a detailed race program for the 11th race.

【ポイント】順調にエ女王杯に... 順調に使われてきた組が続き...

ジュも展開しだいで浮上... ①ヴァイブス... ②トセセンビクトリー...

芝1800... ①東(2)5.29... ②ヒノ1.44... ③ヒノ1.44...

府中牝馬ステークス 過去5回の成績... ①鹿戸雄輔... ②トセセンビクトリー...

馬連・馬単の払戻し金額... 馬連・馬単の払戻し金額です。

2年連続対数... ①馬連決着... ②年齢別対数...

本紙の見解

驚異の成長力ヴィブロス

つい5走前に五百万を勝ち上がったヴィブロス。その2走後に秋華賞に勝ち、さらに2走後にはドバイターフを制した。それも前年の覇者リアルスティールを上回る、圧倒的な爆發力です。超スローペースの内ラチ扱いから、縫うように外に持ち出し一気に差し切った。牝馬GⅡなら、久々でも中心視。展開有利なクロコスミアが相手。【首位有望】

東京馬単 11R 1⇒11 1⇒7 1⇒5 1⇒10 1⇒4 1⇒12

3連単 1着 1 2着 4 5 7 3着 4 5 7 10 11 12 (30点)

柏木の単連

好仕上がり4歳アドマイヤリッドは、春のヴィクトリアマイルを完勝した東京コース向きの持統す末脚が持ち味。小柄でも時計を要する芝はまったく苦にしない。

この中間も豊富な乗り込み、力強い走り好気配。【A】 7アドマイヤリッド 64.1 49.1 34.6 11.6 7直強めり

グリーンチャンネル解説者 黒津 紳一 俊原 正行... 父譲りの切れ味を武器に昨年の秋華賞を制し、ドバイターフでも鮮やかに差し切り勝ちを挙げた。ヴィブロス。乗り込み十分で仕上がりがOK、初の東京コースもむしろ歓迎とみて中心に期待。

東京 11R TMイチ推し1 ヴィブロス 休養で馬体に幅増す 力出せる状態

11R ヴィブロス UAE芝 1000 800 600 200 芝、脚いろ 1 ヴィブロス 67.6 51.2 38.7 12.2 G前強

4 クインズミ 栗坂 52.8 38.3 12.5 馬なり 27南CP良助 67.5 51.5 37.0 12.5 7馬なり

《栗東ニューポトラック馬場について》 Dウッドコースを改修したもので、1周は2038メートル。素材は美浦と同じで電線被覆材など。幅員が14メートルになり、以前は不可能だった3頭併せが可能になった。紙面の表記は「栗DP」。

11R馬番連複 1 106 11 62.4 8 73.9 9 32.8

競馬人情 吉川良

毎日王冠で藤沢和雄既告のソウルスターリングが、ルメール騎乗で惨敗。おれの馬券が紙屑になった。そのあとの、ずいぶん客が少なくなつたパドックは、第12R 3歳上1000万下、ダート1400、16頭立て。 「おっ!!」 と声が出そうになったのは、馬番②ラウロットは、藤沢和雄既告でルメール騎乗。これまたソウルスターリングに続いて1番人気。 「なんだかへんだけど、藤沢さん、ルメールさん、おれの毎日王冠のマイナスを、弁償してくだささい」

《各予想者の◎に印に注目》 予想欄の◎に印は、各スタッフが一昨日頭戴したもので、「その一番買いたい馬」を示しています。

《能力指数について》 スタッフ欄に1~100で表示してあります。なお、未勝利馬古馬も含むについては、的確な能力数算出が不可能なため、割愛させていただきます。また、障害未勝利戦も同様の視点から能力数はありません。

と窓口へ歩いて、ラウロットの単勝と馬単を3点買った。ラウロットが勝ってくれて、馬単も当たって、帰り道、 「今日の馬券はプラスマイナスゼロでした。トントンの一日」と思いながら府中の街へと歩いた。 「トントン」 と心の中で言ってみる。道が少し坂になってノボリ。うーん、じいさん、トントンの一日を歩いてると思えば、結局、人生ってのは、いろいろあるけど、トントンならば上出来なんじゃないかと。 府中牝馬S。このレースを蛭名のホエルキヤブチャが勝ったのを思いだし、蛭名から買ったくなった。デンコウアンジュからアドマイヤリッド、ヴィブロス、クインズミへ馬単。

う。スムーズな競馬ができれば。 14バンゴール 押さえて 尾関師前走はマイルでも前半のペースが緩かったぶん、前回は少し立派だったしカイバも食べているので問題なし。得意の条件でどこまでやれるか。

スローペース 1 85.0 2 85.3 3 90.1 4 24.8 5 20.4

スタップ予想 1 ヴィブロス 2 ハッピー 3 デンコウ

全成績 5 6 5 4 5 5 4 5 4 6 2 5 4 2 0 3

勝負の一手 郡和之 東京11Rクインズミリング GI馬3頭がそろい、なかなか豪華な顔触れとなった今年の府中牝馬S。それぞれ好調を消化、本命選びは難解だが、軸向きのこの馬が、秋冬にかけてパフォーマンスを上げていく、56歳でも結果を出している点も心強い。道悪でも大きな能力減はない。

3連複 1 17 11 2 15 11 3 10 11 4 14 11

スローペース 1 85.0 2 85.3 3 90.1 4 24.8 5 20.4

スタップ予想 1 ヴィブロス 2 ハッピー 3 デンコウ

全成績 5 6 5 4 5 5 4 5 4 6 2 5 4 2 0 3

「バックナンバーのお問い合わせ」 中央・公営版ともに電話03(3493)4916。営業部あて月1本願にお願いします。なお、バックナンバーは一部200円。数に限りがあり、売切れの場合はご容赦ください。

ジョッキータレント10傑

- ①Mデム .257
 - ②ル戸崎 永田 1.195
 - ③福川 武吉 1.159
 - ④田武吉 1.143
 - ⑤田武吉 1.140
 - ⑥吉田 1.136
 - ⑦吉田 1.118
 - ⑧吉田 1.111
 - ⑨吉田 1.102
 - ⑩吉田 1.102
- 10月9日現在
平地40勝以上



大川浩史

トレーナー勝率10傑

- ①内田道寿 .218
 - ②中友池江 1.190
 - ③友池江 1.189
 - ④角居 1.182
 - ⑤藤原 1.166
 - ⑥藤原 1.162
 - ⑦国木 1.148
 - ⑧藤原 1.146
 - ⑨藤原 1.144
 - ⑩藤原 1.134
- 10月9日現在
20勝以上

これで決まり

今週は本格的な道悪

先週土曜の東京芝は最初の3Rが重、5R以降が稍重だったが、時計の出方にもレース内容にもまったく「道悪感」がなかった。しかし今週は、金曜日にガッツリ降る上に土曜も雨の予報。モロに道悪となりそう。

▼レッドジュニア(東京7R)は前走、中山の重で②着だが、脚を余したような内容。直線は



▼秋華賞とトライアルのローズSの強い結びつきは知られる。最近10年、本番で馬券に関係した30頭のうち、約3分の2の「1頭」がローズS組。

紫苑S組が①②着した昨16年以外の9年は、毎年「2頭ずつ」馬券に絡んでいる。

▼ローズS勝ち馬は軽視禁物。秋華賞が創設されて過去21回、本番に出走したローズSの勝ち馬は「527」不出走2頭という記録がある。

今年度のラビットランは⑧番人気で台頭した伏兵なので過信はできないが、快走した19頭の中には、春は無名でローズSは⑨⑩番人気だった馬が含まれている。

逆に、ローズSで③番人気以内で支持されながら⑤着以下に沈んで圈内に巻き返した馬は、これまで21年、1頭もない。

ラビットランの父はアメリカのチャンピオンサイアー「タイロット」。山のようなGI馬を送っているが、芝のGIレース好走馬はいないに等しい。だから前回人気薄だったの

長い方がいいけど上がりが遅いと厳しいというタイプなので、東京の道悪は最適。

▼クロコスマ(東京11R)は良馬場ではない芝⑤③②④着で、千八に限ると①③②着。①着はただの重馬場ではなく、洋芝(函館)の重馬場。洋芝の重はかなり時計がかかるようになるので、道悪巧者でなければ好走しにくい。

函館の重で勝った時は差したが、今はほぼ逃げる。切れ味勝負型の差し馬が持味を發揮できない馬場だと、後続が不発で残りやすい。

だが、ラビットランの母方はダーフト血統ではない。母アミリアは北米の芝8F前後で4勝し、その産駒も芝で好走している。アミリアの属するファミリーの、日本に関係する馬は次のようになる。

- ▼コトリーディー 68
- アルセア 81
- ヤマニンパラダイス
- ヤマニンセラフィム
- パラダ 82
- アンブロジ
- ノーリズ
- グレイトジャーニー
- アキレリア 89
- ペルトリーニ
- アミリア
- ラビットラン
- アサクサゲンキ

▼ヤマニンパラダイスは94年の阪神3歳牝馬S、ノーリズは02年の皐月賞馬。

アミリアの産駒は2頭も輸入されたのである。だから

強力な影響力があった。だから

- ◎府中牝馬S優勝馬の前走成績◎
- 19年 アーロン グレイス
 - 20年 ブルーメンブラット クイーン
 - 21年 ムードインディゴ クイーン
 - 22年 アイアンオーロラ クイーン
 - 23年 マイネイサベル 小倉記①
 - 24年 ホールキャプチャ 新潟記⑦
 - 25年 アイデアドラマドレ 札幌記④
 - 26年 ノボリディアナ クイーン
 - 27年 ボリディアナ 小月経②
 - 28年 クイーンズリング 4ヵ月休



小木曾大祐

今の芝コースは、雨さえ止んでしまえば回復は非常に早いですが、今週は競馬の間も雨予報。道悪適性が必要です。

⑩Rのボイルライトニングを狙い撃ち。昨年の話ですが、注目は5走前のオーロC。前半3ハロン35秒2から上がり34秒7と、まんまと勝ち馬に逃げ切られた一戦ですが、この流れを最後方から大外に持ち出し、直線猛追してコマ2秒差の⑤着。

適性探し、いろいろな条件を使われていますが、京王杯2歳Sに昨年のオーロCと、この東京1400mでの2戦は、いずれも強い競馬を見せています。

道悪に強いタイプメジャー産駒も強調材料。豊富な調教量を消化し、ベスト条件にピタリと照準を合わせてきました。

東京リーディングジョッキー

(2017年10月9日終了現在)

順位	騎手名	年令	所属	①特別	②着	③着	着外	連対率	通算勝利	
①	戸崎	37	(田島俊)	54	15	38	24	144	.354	796
②	ルメー	38	(フリー)	40	16	32	19	65	.462	678
③	内田博	47	(フリー)	31	5	29	30	208	.201	1091
④	Mデム	38	(フリー)	20	13	12	10	40	.390	740
⑤	田辺	33	(フリー)	19	5	20	18	129	.210	698
⑥	大野	31	(フリー)	16	3	16	13	197	.132	408
⑦	北村宏	37	(フリー)	15	5	15	8	178	.139	1246
⑧	柴田大	40	(フリー)	13	0	15	19	177	.125	417
⑨	横山典	49	(フリー)	12	2	10	9	88	.185	2671
⑩	津村	31	(フリー)	11	3	12	6	91	.192	366